

①信頼済みサイトの設定

※Windows8.1、をご利用の場合は、デスクトップ画面よりInternet Explorerを開いてください。

1. Internet Explorerを開き、以下の操作を行います。

(1)メニューバー[ツール]ー[インターネットオプション]①をクリックします。



2. インターネットオプションダイアログにて以下の操作を行います。

(1)[セキュリティ]タブ①をクリックします。

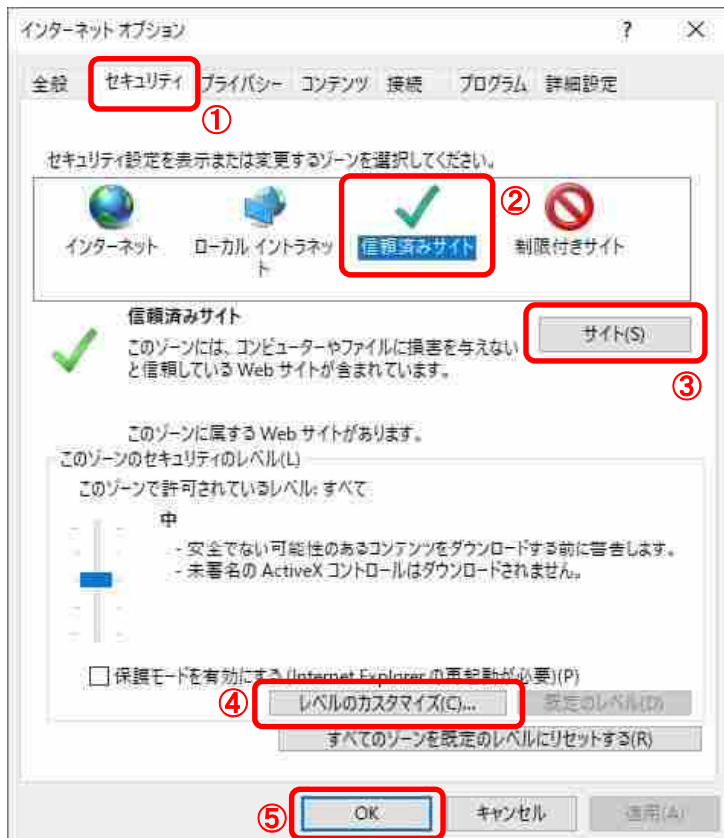
(2)[信頼済みサイト]②をクリックし、[サイト]ボタン③をクリックします。

→2. 1. 信頼済みサイトダイアログ (1)へ

(3)[レベルのカスタマイズ]ボタン④をクリックします。

2. 2. セキュリティ設定ー信頼されたゾーンダイアログ (1)へ

(4)[OK]ボタン⑤をクリックします。

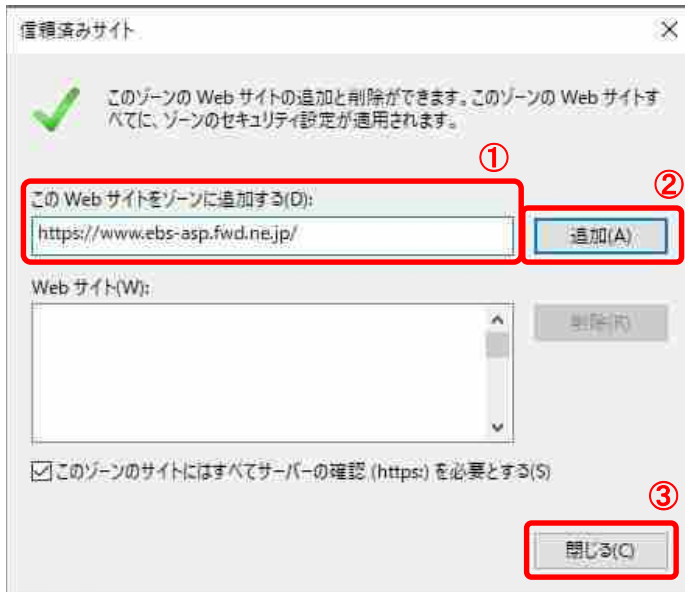


2. 1. 信頼済みサイトダイアログにて以下の操作を行います。
 - (1) [次のWebサイトをゾーンに追加する]欄①に下記「電子入札URL」に示すアドレスを一行ずつ入力します。
 - (2) [追加]ボタン②をクリックし、[Webサイト]にURLが追加されたことを確認します。
 - (3) 上記(1)～(2)を必要なURL分行います。

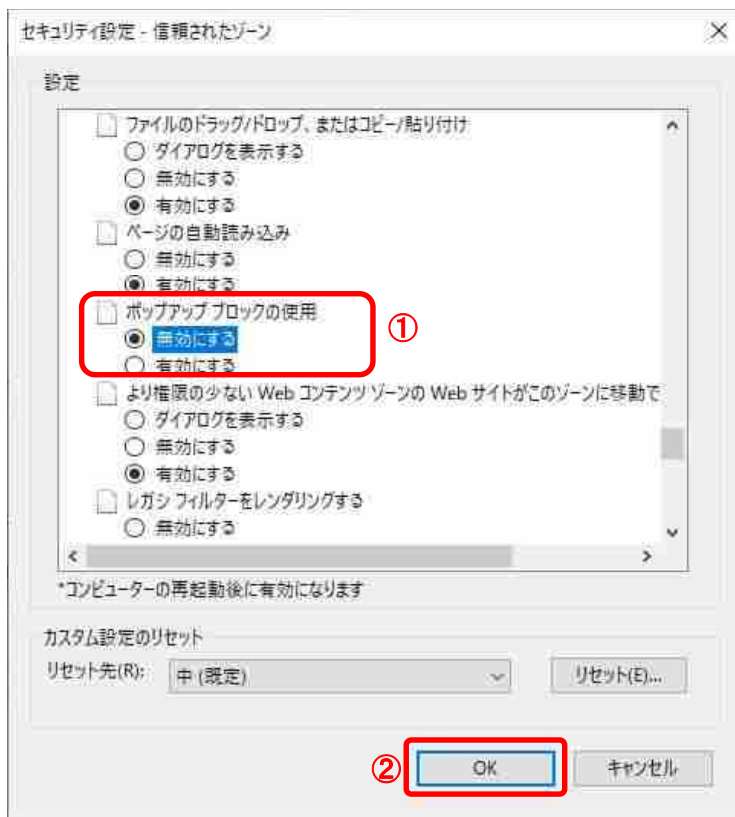
電子入札URL

受注者: <https://www.ebs-asp.fwd.ne.jp/> (電子入札システムを利用する場合のみ必要)
<https://www.epi-asp.fwd.ne.jp/>

- (4) [閉じる]ボタン③をクリックします。
 →2. インターネットオプションダイアログ(3)へ



2. 2. セキュリティ設定－信頼されたゾーンダイアログにて以下の操作を行います。
 - (1) [ポップアップブロックの使用]①を[無効にする]に変更します。
 - (2) [OK]ボタン②をクリックします。
 →2. インターネットオプションダイアログ(4)へ



3. Internet Explorerを終了します。他に開いているInternet Explorerがあれば全て終了してください。

以上で設定は終了です。

②互換表示設定

※Windows8.1、をご利用の場合は、デスクトップ画面よりInternet Explorerを開いてください。
Internet Explorerを開き、以下の操作を行います。

(1)メニューバー[ツール]ー[互換表示設定]①をクリックします。



(2) [追加するWebサイト]①の欄に以下を入力します。

fwd.ne.jp

(3) [追加]ボタン②をクリックし、[互換表示に追加したWebサイト]にURLが追加されたことを確認します。

(4) [閉じる]ボタン③をクリックします。



(5) Internet Explorerを終了します。他に開いているInternet Explorerがあれば全て終了してください。

以上で設定は終了です。

③IEキャッシュクリア手順

・設定手順はバージョンにより異なります。以下のご利用のバージョンの手順をご参照ください。
※Windows8.1をご利用の場合は、デスクトップ画面よりInternet Explorerを開いてください。

1. Internet Explorerを開き、以下の操作を行います。

(1)メニューバー[ツール]ー[インターネットオプション]①をクリックします。



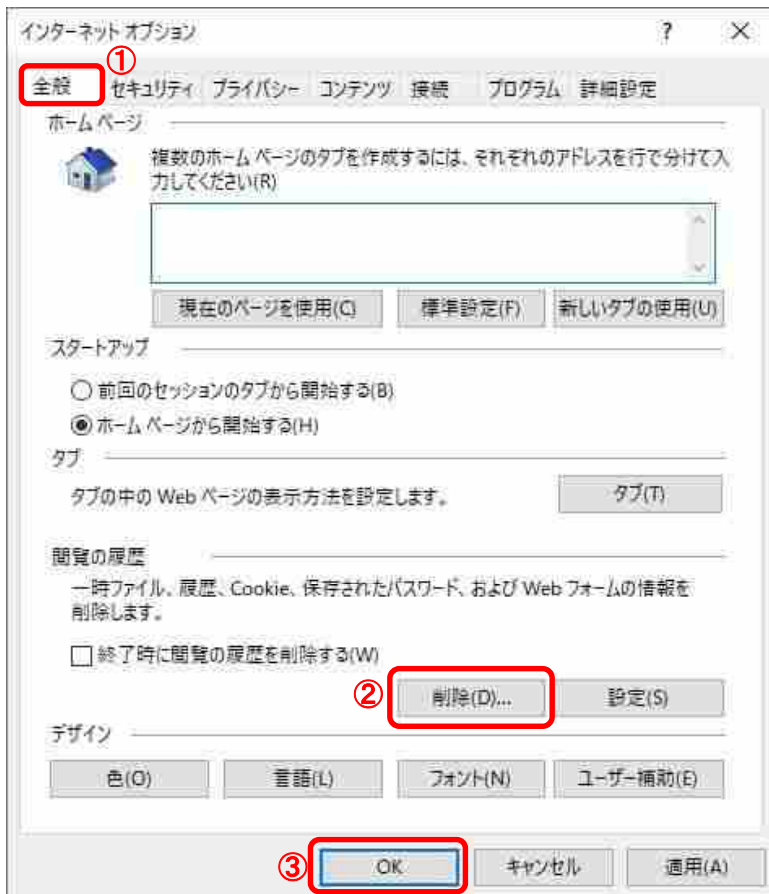
2. インターネットオプションダイアログにて以下の操作を行います。

(1)[全般]タブ①をクリックします。

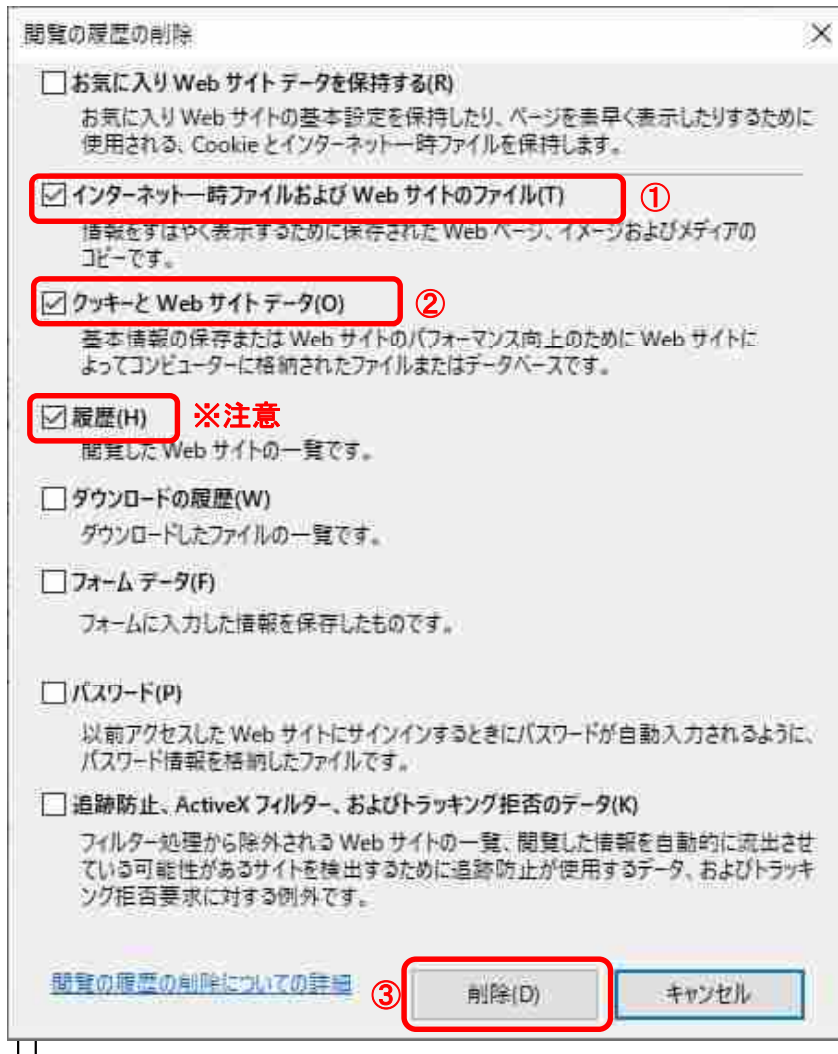
(2)「閲覧の履歴」にある[削除]ボタン②をクリックします。

→3. 閲覧の履歴の削除ダイアログ (1)へ

(3)[OK]ボタン③をクリックします。



3. 閲覧の履歴の削除ダイアログにて以下の操作を行います。
- (1)「インターネット一時ファイルおよびWebサイトのファイル」チェックボックス①をチェックします
 - (2)「クッキーとWebサイトデータ」チェックボックス②をチェックします。
※「履歴」チェックボックスにはチェックをしないでください。
「履歴」を削除した場合、互換表示設定にて設定したアドレスが消えてしまいます。
 - (3)「削除」ボタン③をクリックします。
- 2. インターネットオプションダイアログ (3)へ



以上で設定は終了です。

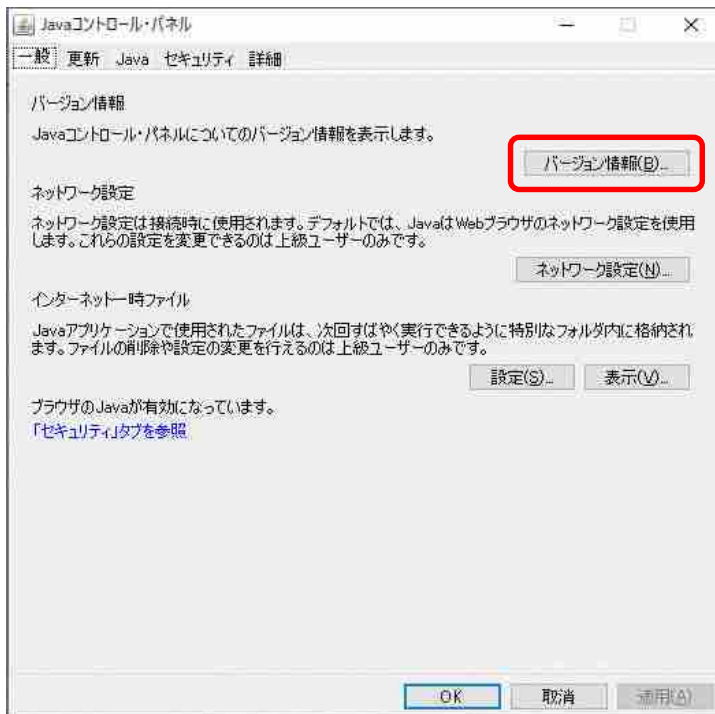
④Javaバージョン確認

JAVAのバージョンは以下の方法でご確認ください。(※お使いのOSによって画面が異なる場合があります)

1. 使用するパソコンを起動し、「スタート」メニューをクリックします。
2. 表示されるメニューより、「コントロールパネル」をクリックします。
3. コントロールパネルより「Java」のアイコンをクリックします。



4. 「Javaコントロール・パネル」が表示されます。「バージョン情報(B)」ボタンをクリックします。



5. 「Javaについて」が表示されます。下記図の赤枠部分がバージョンです。

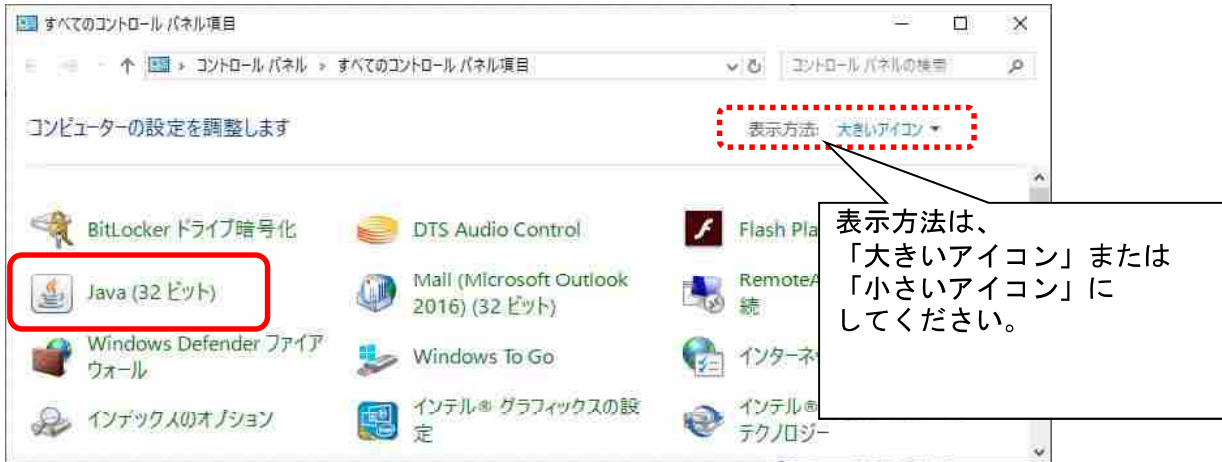


確認終了後は、すべての画面を閉じてください。

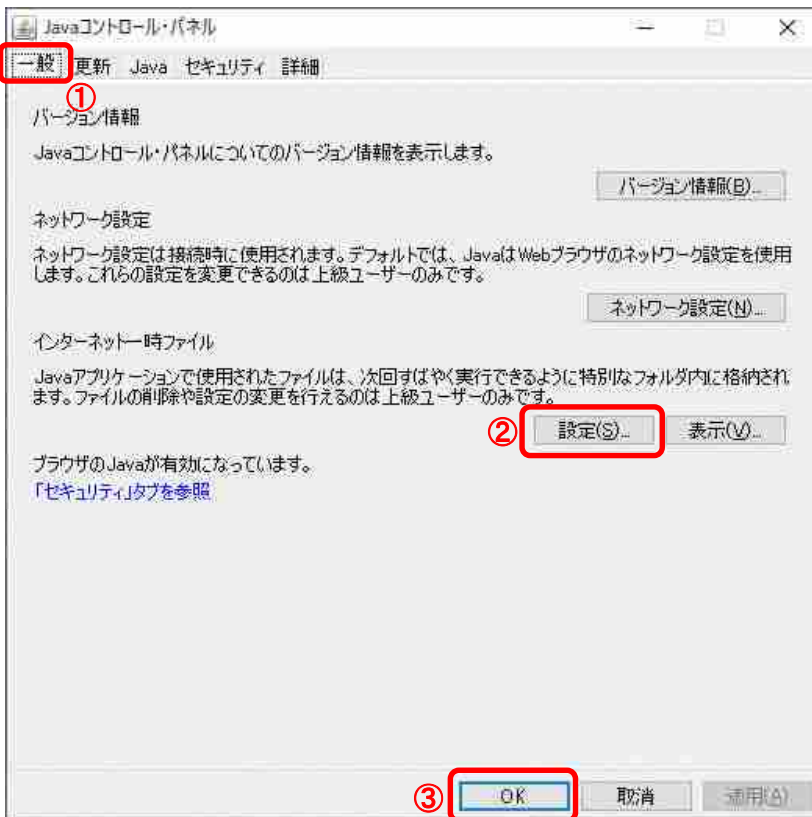
⑤Javaキャッシュクリア手順

・Javaキャッシュは以下の手順でクリアしてください。

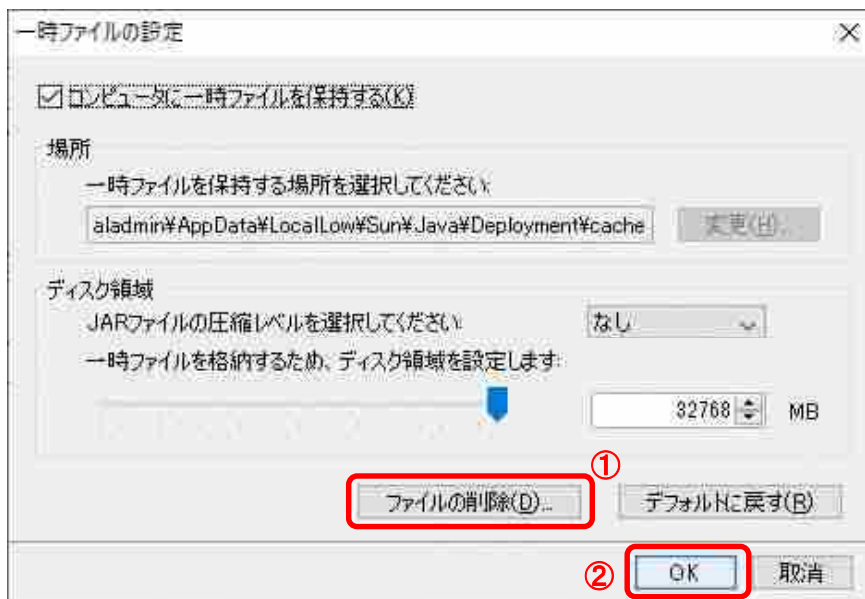
1. 使用するパソコンを起動し、「スタート」メニューをクリックします。
2. 表示されるメニューより、「コントロールパネル」をクリックします。
3. コントロールパネルより「Java」のアイコンをクリックします。



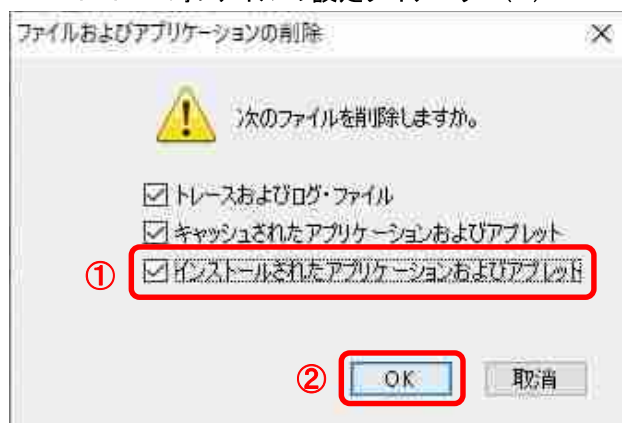
4. Java コントロールパネルにて以下の操作を行います。
 - (1) [一般]タブ①をクリックします。
 - (2) 「インターネット一時ファイル」にある[設定]ボタン②をクリックします。
 - 4. 1. 一時ファイルの設定ダイアログ (1)へ
 - (3) [OK]ボタン③をクリックします。



4. 1. 一時ファイルの設定ダイアログにて以下の操作を行います。
- (1)[ファイルの削除]ボタン①をクリックします。
→4. 1. 1. 一時ファイルの削除ダイアログ (1)へ
 - (2)[OK]ボタン②をクリックします。
→4. Java コントロールパネル (3)へ



4. 1. 1. 一時ファイルの削除ダイアログにて以下の操作を行います。
- (1)「インストールされたアプリケーションおよびアプレット」チェックボックス①にチェックつけます。
 - (2)[OK]ボタン②をクリックします。
→4. 1. 一時ファイルの設定ダイアログ (2)へ



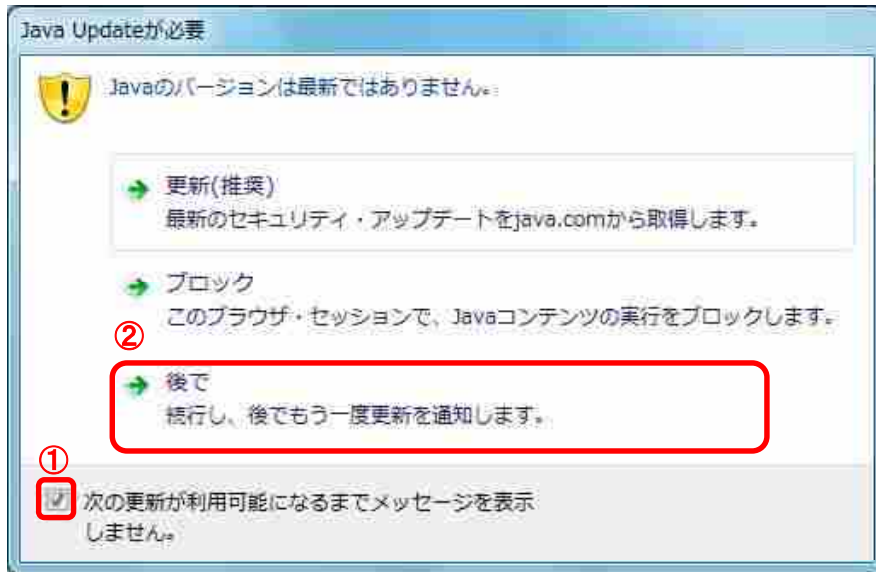
以上で設定は終了です。

⑥Java警告メッセージの回避方法

《Java アップデートに関するメッセージ》

電子入札システムにログインする際に、Javaのアップデートが必要とメッセージ表示される場合がありますが、Javaをアップデートしないよう注意してください。
以下の手順にて、メッセージを回避してください。

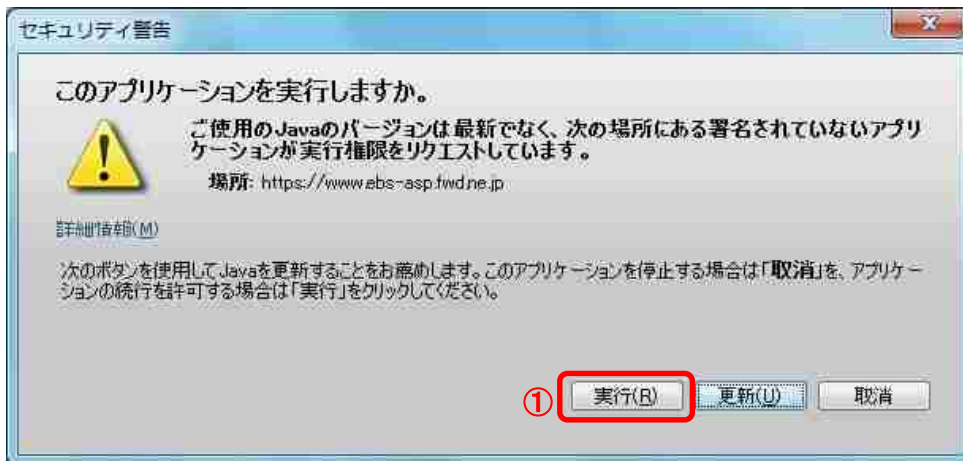
1. 「次の更新が利用可能になるまでメッセージを表示しません。」のチェックボックス①にチェックします。
2. 「後で」をクリックします。



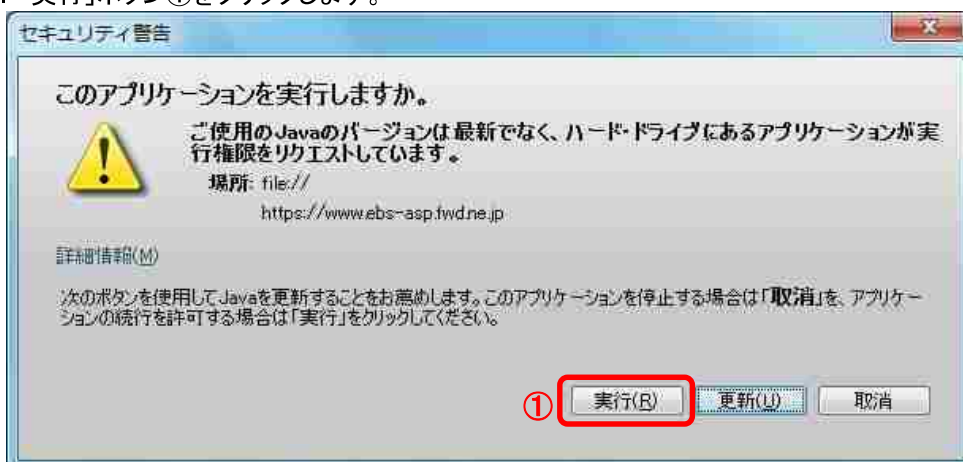
《Java セキュリティ警告に関するメッセージ》

電子入札システムにログインする際に、Javaセキュリティ警告が表示される場合があります。
以下の手順にて、メッセージを回避してください。(セキュリティ警告は2回表示されます)

1. 「実行」ボタン①をクリックします。



2. 「実行」ボタン①をクリックします。



⑦Javaセキュリティ設定

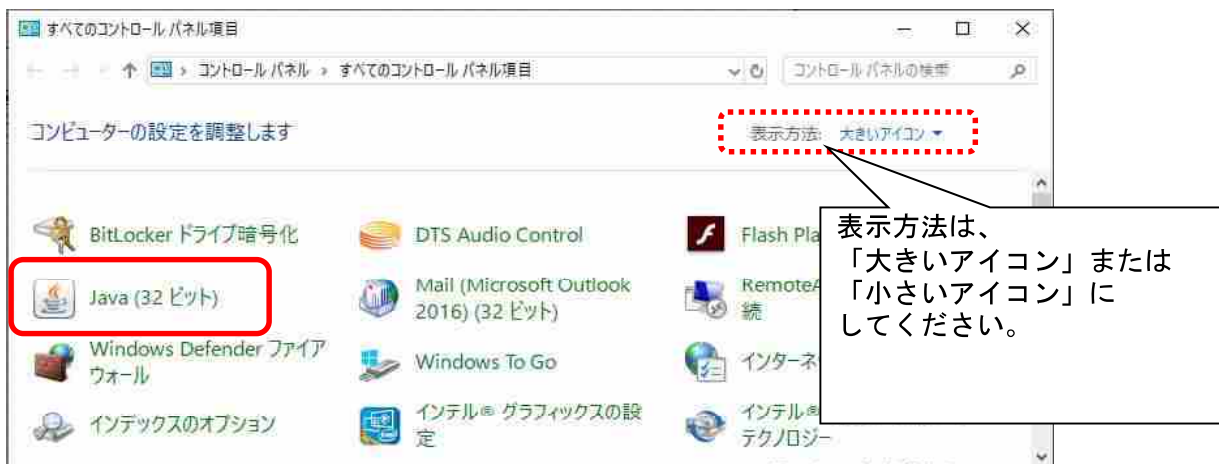
Javaのセキュリティ強化に伴い、以下のようなメッセージが表示される場合があります。
Javaコントロールパネルより、セキュリティの設定をご確認ください。



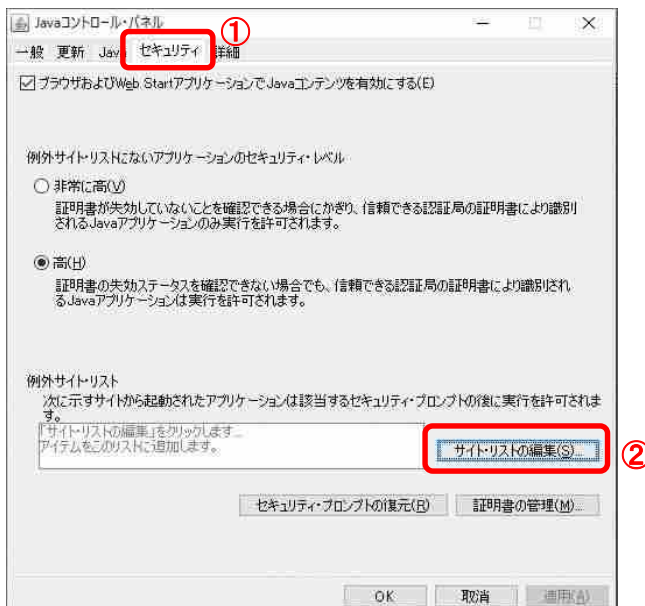
JRE8を利用するには、コアシステムを利用するすべてのPCにおいて、Javaコントロールパネル「例外サイト・リスト」に、ご利用頂く電子入札システムのURL (javaポリシー記載と同じ) 及び電子入札専用クライアントソフトウェア (各認証局が提供) のプログラムファイル名を設定する必要があります。
設定するURLや詳細の手順に関しては各認証局にご確認ください。

参考として、以下に直接追加する手順を記載します。

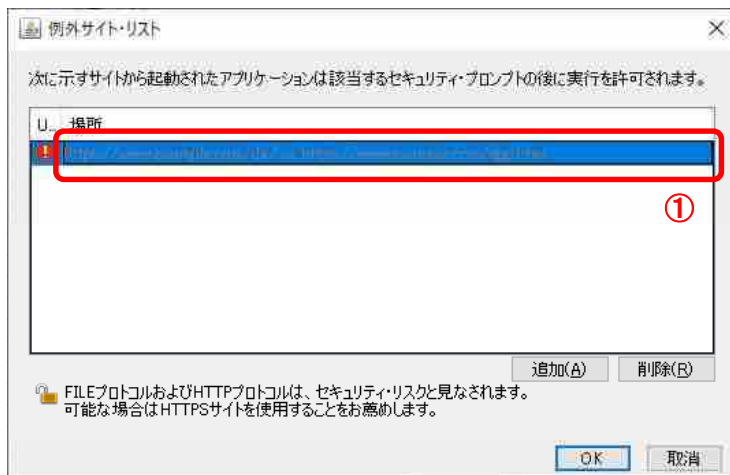
1. 使用するパソコンを起動し、「スタート」メニューをクリックします。
2. 表示されるメニューより、「コントロールパネル」をクリックします。
3. コントロールパネルより「Java」のアイコンをクリックします。



4. Java コントロールパネルにて以下の操作を行います。
(1) 「セキュリティ」タブ①をクリックして、「サイト・リストの編集」ボタン②をクリックします。



- (2)「場所」欄①にご利用頂く電子入札システムのURL (javaポリシー記載と同じ) 及び電子入札専用クライアントソフトウェア (各認証局が提供) のプログラムファイルが置かれているフォルダ名を登録します。
(注意) JRE のインストール先を変更した場合は、以下フォルダ名が変わりますのでご注意ください。



電子入札専用クライアントソフトウェアは以下フォルダ名を「置換条件」(*)に従い変換したものを登録します。

・32bit PCの場合

フォルダ名 : C:\Program Files\Java\jre1.8.0_XX\lib\applet\
 置換後のフォルダ名 : file:///C:/Program%20Files/Java/jre1.8.0_XX/lib/applet/

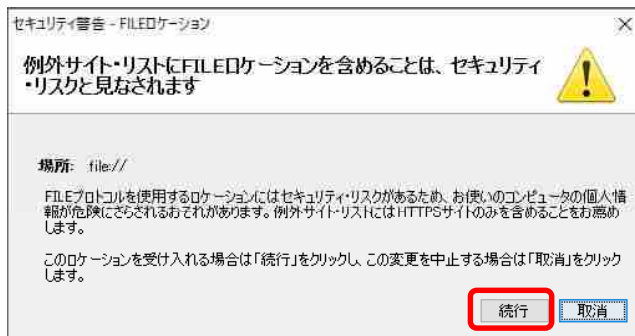
・64bit PCの場合

フォルダ名 : C:\Program Files (x86)\Java\jre1.8.0_XX\lib\applet\
 置換後のフォルダ名 : file:///C:/Program%20Files%20(x86)/Java/jre1.8.0_XX/lib/applet/

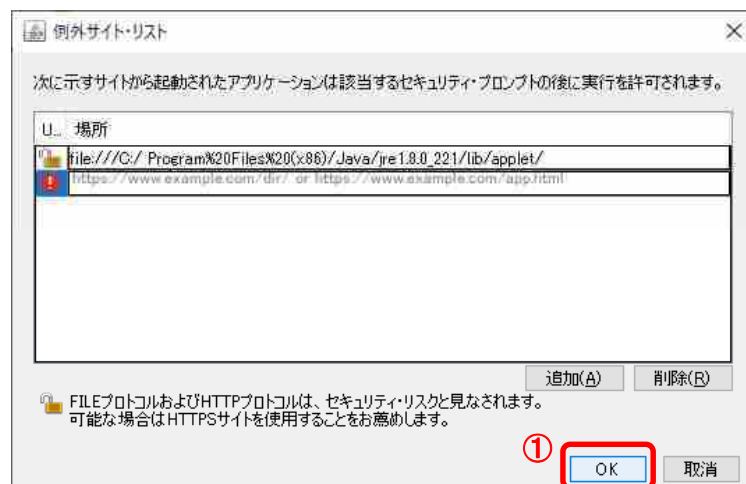
(*)置換条件

- ・ 半角スペースがある場合は、「%20」に置き換える
- ・ 「¥」は「/」に置き換える
- ・ 先頭に「file:/」を付ける

登録する際に、以下のようなセキュリティ警告がでる場合があります。「続行」を選択してください。



- (3)登録が完了したら、「OK」ボタン①をクリックします。

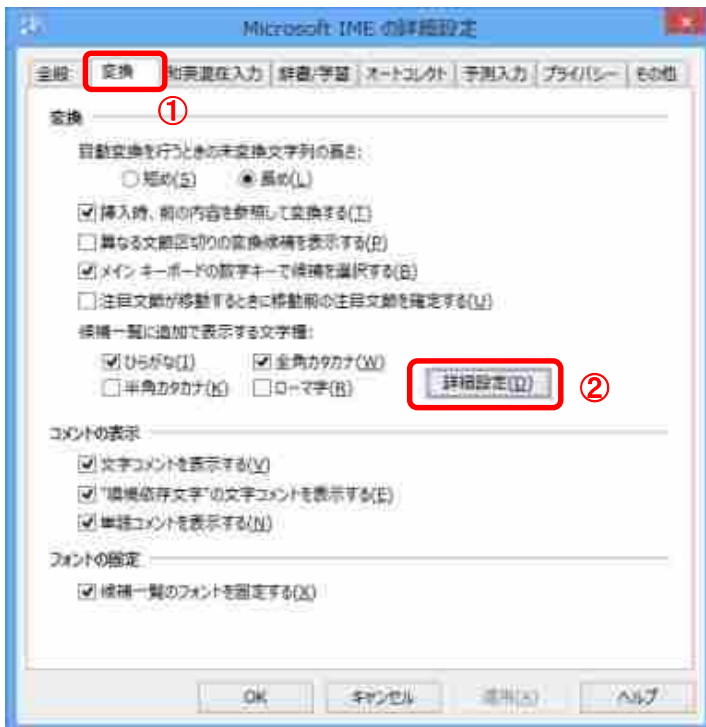


※本手順は参考資料です。認証局によって登録するURLが異なる場合があります。詳細の設定方法に関しては、ご利用の各認証局へお問い合わせください。

⑧フォントの設定

電子入札システムを使用するパソコンでは、JIS2004対応フォントが使用できません。
以下手順を参照の上、JIS2004の使用制限を行ってください。

- (1)IMEのプロパティを表示します。
※ツールバーに表示される「A」や「あ」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。
- (2)IME プロパティを開き、画面上部の「変換」タブ①をクリックします。
画面上部の「詳細設定」ボタン②をクリックします。



- (3)「JIS X 0208 で構成された文字のみ変換候補に表示する」①をチェックします。
「OK」ボタン②をクリックします。



以上で設定は終了です。

⑨暗号化通信方式「TLS1.2」有効化の設定

※Windows8.1をご利用の場合は、デスクトップ画面よりInternet Explorerを開いてください。

1. Internet Explorerを開き、以下の操作を行います。

(1)メニューバー[ツール]ー[インターネットオプション]①をクリックします。

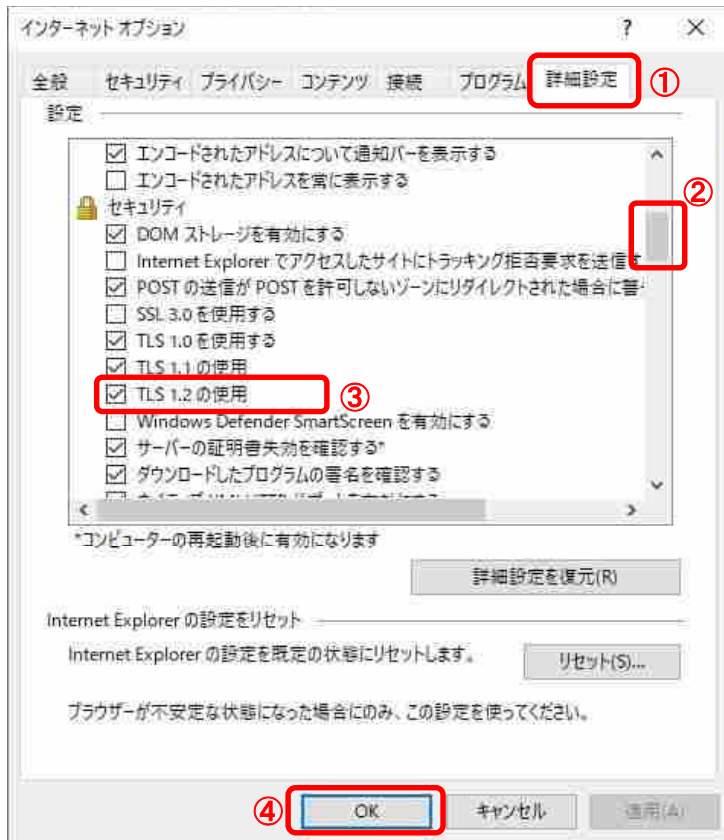


2. インターネットオプションダイアログにて以下の操作を行います。

(1) [詳細設定]タブ①をクリックします。

(2) 「セキュリティ」項目部分までスクロール②し、[TLS1.2を使用する]③にチェックが選択されていることを確認しま
→[TLS1.2を使用する]③にチェックが選択されていない場合はチェックを付けてください。

(3) [OK]ボタン④をクリックします。



3. Internet Explorerを終了します。他に開いているInternet Explorerがあれば全て終了してください。

以上で設定は終了です。